

科目名 「 歯周治療学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	小方頼昌

学習目標 (GIO)	歯周治療は、歯科治療の基本であり、保存、補綴、矯正治療を行う場合においても、歯周治療が終了した健康な歯周組織でなければ治療は成功しない。また、安定した咬合機能を営むためには、歯周組織が健康である必要がある。歯周治療終了後、回復した口腔機能を長い期間に渡り維持するためには、患者の自己管理を中心としたメンテナンスとサポーターセラピーを継続して行うことが重要である。歯周治療学では、まず、正常歯周組織を理解し、その病因、臨床像を正しく認識し、その治療法を学ぶ。また、予防、サポーターセラピー、メンテナンスの違いを理解し、歯周治療を総合的に学ぶことを目的とする。
担当教員	小方頼昌, 中山洋平, 高井英樹, 目澤優, 加藤彩子
教科書	最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 医歯薬出版
参考図書	臨床歯周病学 第2版 医歯薬出版, ザ・ペリオドントロジー 第2版 永末書店 失敗しない歯周外科 クインテッセンス出版
評価方法 (EV)	出席, 平常試験および筆記試験によって評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	毎回の授業を理解して, 次の授業に望むこと。分からない部分は, 活発に質問すること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	歯周病の疫学 歯周病の罹患 状況	【授業の一般目標】 疫学的検索による歯周病の罹患状況を理解し、他の歯科疾患の罹患率と比較する。 疫学的評価法を学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周病と他の歯科疾患の罹患率を比較する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義	高井
第2回 4/13	歯周病の病因 (1) プラーク, バイオフィルムと歯石, 歯周病における細菌の役割, 病因メカニズム	授業の一般目標】 歯周病と歯周病原菌 (バイオフィルム) の関係、炎症との関係を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。 【準備学習項目・時間】 プラークと歯石, 歯周病原菌について予習する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義	加藤

<p>第3回 4/20</p>	<p>総論 歯周組織の構造と機能</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病と歯周治療について学ぶ。 正常歯周組織を理解する。 (解剖学的, 生理学的, 生化学的特徴) 行動目標 (SBOs) ] 1. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。 【準備学習項目・時間】 基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学特徴を復習する (60分)。 【学習方略 (LS) ] 講義</p>	<p>小方</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>歯周病の病因 (2) 歯周病と全身疾患、 遺伝との関係、 リスクファクターについて</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病と全身疾患、 遺伝との関係、 リスクファクターについて学ぶ。 【行動目標 (SBOs) ] 1. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周病と全身疾患との関係を調べる (60分)。 【学習方略 (LS) ] 講義</p>	<p>目澤</p>
<p>第5回 5/11</p>	<p>歯周病の診査と診断 (1) 歯周病の臨床像 歯周病の分類</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病の臨床所見を理解する。、 歯周病の分類を学ぶ。 行動目標 (SBOs) ] 1. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周病の臨床像について予習をする (60分)。 【学習方略 (LS) ] 講義</p>	<p>加藤</p>
<p>第6回 5/18</p>	<p>歯周病の診査と診断 (2) 歯周病の病態</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患の病態を理解する。 歯肉炎と歯周炎の違いを理解する。 【行動目標 (SBOs) ] 1. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 【準備学習項目・時間・時間】 歯周病の臨床所見を予習する (60分)。 【学習方略 (LS) ] 講義</p>	<p>中山</p>
<p>第7回 5/25</p>	<p>歯周病の診査と診断 (3) 歯周組織検査 治療計画の立案 応急処置</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解する。歯周病検査の意義と内容を説明できる。歯周病検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。 【行動目標 (SBOs) ] 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査 (基本検査、精密検査) の項目を説明できる。 【準備学習項目】 歯周治療の流れについて予習を行う (60分)。 【学習方略 (LS) ] 講義</p>	<p>中山</p>

<p>第8回 6/1</p>	<p>歯周基本治療 (1) 歯周基本治療の種類</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療とはなにか？ 歯周基本治療で行う項目について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 歯周基本治療の種類を列挙し、その目的を説明できる。 【準備学習項目】 歯周基本治療の種類について予習をする (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>目澤</p>
<p>第9回 6/8</p>	<p>歯周基本治療 (2) プラークコントロール スケーリング</p>	<p>【授業の一般目標】 プラークコントロール, ブラッシング指導について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 口腔衛生指導に重要性を理解する。 【準備学習項目・時間】 口腔清掃指導の目的を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>加藤</p>
<p>第10回 6/15</p>	<p>歯周基本治療 (3) スケーリング・ ルートプレーニング</p>	<p>【授業の一般目標】 スケーリング・ルートプレーニング (SRP) で使用する器具について学ぶ。 スケーリングとルートプレーニングの違いについて学ぶ。 器具の研磨法を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学習項目・時間】 スケーラーの種類とその特徴を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中山</p>
<p>第11回 6/22</p>	<p>歯周外科治療 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と術式, 適応について学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 2. 歯周組織再生誘導の適応を説明できる。 3. 歯周形成手術の適応を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>高井</p>
<p>第12回 6/29</p>	<p>歯周外科治療 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療で使用する器具の種類とその使用法について理解する。 歯周外科治療の準備および後片付け, 滅菌, ドレーピングについて学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの使用器具について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を再確認する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>高井</p>

<p>第13回 7/6</p>	<p>歯周外科治療 (3) 咬合性外傷とその 治療法 歯内歯周病変とそ の治療法</p>	<p>【授業の一般目標】 咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置について学ぶ。歯内歯周病変について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処について学ぶ。 2. 歯内歯周病変について学ぶ。 【準備学習項目・時間】 咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏および歯内歯周病変について予習をする (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小方</p>
<p>第14回 7/13</p>	<p>歯周外科治療 (4) 分岐部病変とその 治療法</p>	<p>【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 根分岐部病変と歯内歯周病変の分類について説明できる。 【準備学習項目・時間】 根分岐部病変の分類を予習する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>目澤</p>
<p>第15回 7/20</p>	<p>ペリオドンタルサ ポートィブセラ ピーとメインテナ ンス 歯周治療のまとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 ペリオドンタルサポートィブセラピーとメインテナンスの違いについて理解する。リコールの重要性について理解する。歯周治療の全体像を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 ペリオドンタルサポートィブセラピーとメインテナンスの違いについて説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯周治療の全体像を再復習する (60分)。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小方</p>